

中小製造業のサイト制作

ビジネス 交差点

アイリーラボ (岡谷市)

ウェブサイトを制作のアイ

リーラボ(岡谷市)は、中小製造業のサイト作りを力を入れている。地方は都市部と比べて企業のIT投資が遅れていると指摘。技術的な強みや顧客の課題を解決した実績をどう見せるかを工夫し、受注増につながる「顧客獲得型」にこだわっている。

サイト制作を発注した企業への聞き取りを通し、納期のスピードや技術の精度などを把握。強調すべき部分や写真を使った印象的な見せ方を検討してサイトに反映する。サイト運用にも携わり、アクセスの多いページなどのデータを分析して必要に応じて改善する。

武田育大社長は、インターネットでは簡単に複数の会社情報を比較でき、大手メーカーの担当者はウェブサイトを見比べて部品加工



アイリーラボが製造業向けに制作したウェブサイト

受注増へ強み・実績見せ方工夫

などの取引先を検討している。説明。サイトで強みを

伝えるれない企業は、知らる可能性があると言っ。ぬ間に受注機会を失っている。武田社長によると、部品

企業のブランド力

向上支援事業化へ

長野のアドイシグロ

2013年から展開。手を入り組んでいる。

れない既存物件よりも高い家賃で貸し出している。改修体

石黒ちとせ社長は「TEAM E」について「リノベーションしたマンションの『ショールーム』としての役割と、当

舞台としたまちづくりにも取

社のコンセプトを感じてもら

加工などの発注先を探す際は、会社名ではなく、部品や加工技術の名称で検索することが多い。企業が抱える課題に対し、自社の技術がいかに解決に役立つかをアピールすることが重要と強調する。

同社は、諏訪地域の産業機械メーカーで働いた経験がある武田社長が2011年に創業。14年ごろから製造業に特化したサイト作りを始めた。現在は地元の同地域を中心に事業を展開し、16年10月期の売上高は2千万円。武田社長は「ウェブサイトをうまく活用できていない企業はまだ多い。諏訪で実績を積んで知名度を上げ、他の地域にも事業を拡大したい」としている。

づくりを加速する。

「地域には将来も残ってほしいすてきな企業がある。看板制作にとどまらず、リノベーションやイベント企画などで効果的な情報発信のプラン